

【洲本市】校務DX計画

現在、教育現場においては、業務の効率化と情報共有の重要性がますます高まっています。教育委員会では、令和3年度に「第1期洲本市教育の情報化推進計画」を策定し、令和6年度には「第2期洲本市教育の情報化推進計画」を策定しました。また、GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリストの結果を分析し、その結果を学校現場と共有しながら校務DXの推進に取り組んできました。

現在、学校内での校務DXは着実に進んでいますが、教職員と保護者の連絡のデジタル化には課題が残っています。

本市では最終的に、教育DXを推進し、子どもも教職員も共にWell-beingを享受できる環境を実現することを目指しています。それには、校務DXの進展が不可欠です。アンケートのデジタル化をはじめ、教育委員会主催の研修もハイブリッド型で実施しています。

また、教育現場における業務の効率化を図るため、本市では汎用クラウドツールと統合型校務支援システムを活用していますが、今後はセキュリティポリシーを整備し、ネットワークのゼロトラスト化や、生成AIの活用と次世代型校務支援システムに移行していく予定です。

校務DXスケジュール

- ・ 令和3年4月 第1期洲本市教育の情報化推進計画策定
Googleアカウント全教職員に付与
Google Workspace 導入
- ・ 令和3年5月 Google Workspace 活用事例研修実施
- ・ 令和3年9月 研修動画のアーカイブ化開始
- ・ 令和3年7月 ハイブリッド型研修開始
諸会議のペーパーレス化開始
- ・ 令和6年4月 第2期洲本市教育の情報化推進計画策定
- ・ 令和6年8月 生成AI活用事例研修
- ・ 令和6年9月 次世代型校務支援システム導入の検討開始
- ・ 令和6年11月 教育DXを見据えた公開授業研究会の実施